

川高生にも聞いてみた!! 実際どうなの?

留学生に質問!!

●なぜ川根高校を?

- ・高校を卒業したら1人暮らしをして自立したかったので、寮があるこの学校のことを知り入学を決めた
- ・親元を離れながら、野球に集中できる環境だと思った
- ・塾の先生が川根本町出身の方で、この学校をすすめられた
- ・少人数で授業をすると聞いていたので、学習がしやすいと思った
- ・寮があるのと土地柄が気に入ったから

●川根に来てみての学校生活は?

- ・街の学校にいた頃は登校してから教室で遊んでいたが、ここに来てからは読書をするようになった
- ・お店が少ないのはわかっていたが、やはりあらためて生活してみると不便。でも最近は慣れてきた
- ・授業を受けていて先生と生徒の距離が近いと感じる
- ・部活の応援などでの一体感がすごい

●川根留学3年間の目標は?

- ・勉強と部活を両立しながら甲子園を目指したい。将来も野球選手として関わっていきたい。
- ・3年間しっかりと勉強をして大学へ行きたい。将来は国際関係の仕事に就きたい。

地元の子に質問!!

●地元の子から見た留学生は?

- ・遠くからよく来てくれたと思う
- ・人見知りしない子が入ってくる
- ・個性の強い子が入ってきている

●留学生が入ったことで変化を感じることは?

- ・クラスが明るくなった
- ・今まで知らなかった子たちが入ってきて、クラスを盛り上げてくれるようになった
- ・今までの見知った顔に新しい風が入ったように感じる

川根高校の未来は!!

●この先川根高校がどうなってほしい?

- ・留学生が入ることで学校が活性化されてほしい
- ・生徒が個性を発揮できる学校になればよいと思う
- ・川根高校出身だと誇れるような、全国でも有名な学校になってもらいたい
- ・地域に貢献できるような学校になればいい
- ・留学してきた子たちが、この学校での体験をおして地域に溶け込んでもらいたい



●川根留学制度と魅力化の取り組みに
対し、川根高校ではどのような想い
を持っているのか須藤校長にお話を
伺いました。

まずは、川根高校の魅力化に対して
地域や役場の方々をはじめ、県教育委
員会が支援してくれていることに感謝
をしたいと思います。

この取り組みの大きな柱の一つが留
学生制度ですが、この制度は町や地域
だけでなく、連携中学からの入学生に
とってもプラスになっているという実
感があります。

川根に育った子たちは「まじめさ」
「素直さ」「規律正しさ」という良さを
持っているのに対し、15歳で親元を離
れてここに来ている留学生は「積極性」
や「チャレンジ精神」が強く、なによ
り「自立心」が旺盛です。

そういった子たちがともに学び合う
ことで、お互いに良いところ吸収して
伸ばし合うという、素晴らしい学校文
化が形成され始めました。



最初は反対の方向に影響しあってし
てしまうのではとも思ったのですが、
地域や教育委員会のサポート、学校の
特性である少人数教育で全体の距離が
近いということが、よい方向に作用し
たのだと思います。

川根高校の生徒には、高校時代にこ
こでしかできないたくさんさんの学びを通
じ、「川根愛を育み、自らの未来を切
り開く」というキーワードのもとに愛
情を受けて育っていくことで、将来こ
こを出て行ったとしても、いずれはこ
の地域に戻ってきたり、外から川根を
サポートしたりというような生き方を
してもらえるようになってほしいと考
えています。

また、町内の方々が生徒にやさしい子
どもたちへの声かけは、留学生だけで
なく地元の子にもありがたいし元気に
なるものです。声をかけられることで
「地域の方に見守ってもらえている」
という安心感を感じる子はとても多
く、今後も続けていただければありが
たいと思います。そういったことは川
根の良さとして留学生が再発見するこ
ともなり、地元の子と温かく見守って
いただきます。どの子たちも温かく見守って
いただけるようお願いいたします。



●留学生について地区の方はどのように感
じているのか、7月21日(土)に行われた
徳山区の美化活動に留学生が参加した際、
林泰明区長にお話を伺いました。

毎朝留学生が登校するようになりまし
たが、人通りが少なくなってきた地区内を
若い子たちが歩いてくれるということは、そ
れだけでも活気が出るような感じがします。
そういったことは子どもたちがどこから来た
ということとは関係なく、うれしいことだ
しありがたいことだと感じています。

今回は地区の道路美化活動に38人も留
学生が参加してくれました。こういった地域の
活動に参加してくれることで、通学中に挨拶
をする程度だった地区の人も、一緒に作業す
ることでお互いに知り合い交流する場にもな
ります。

自分たちが住んでいる地区の整備がこのよ
うに行われているんだということを知っても
らうことにもなり、ただ3年間勉強するだけ
ではない高校生活の思い出と留学経験の一つ
になるのではないかと思います。

留学生については、ずっとここに住んでい
る私たちとは視線が違っていると見
慣れすぎて当たり前前の光景である茶畑ひとつ
とっても、留学生はその魅力に気づき、あら
ためて教えてくれます。それは地元の人間が
自分たちの住んでいる場所を見直すというこ
とにもつながっていくと思います。

